



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年6月28日

東名

上場会社名 パレモ・ホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 2778 URL <http://www.palemo.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)福井 正弘
問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理担当兼経理管理部長 (氏名)笹野 信行 (TEL)052-581-6800
四半期報告書提出予定日 2024年7月3日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年2月21日~2024年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	3,803	△6.1	78	△58.4	71	△60.2	72	△58.6
2024年2月期第1四半期	4,050	△13.1	188	9.4	180	8.8	174	14.0

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 72百万円(△58.6%) 2024年2月期第1四半期 174百万円(14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年2月期第1四半期	円 銭 6.03	円 銭 4.99
2024年2月期第1四半期	14.54	12.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年2月期第1四半期	百万円 8,149	百万円 1,700	% 20.7
2024年2月期	8,426	1,642	19.3

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 1,687百万円 2024年2月期 1,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2025年2月期	-	-	-	-	-
2025年2月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年2月21日~2025年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,080	△4.0	320	△29.5	310	△29.1	305	△40.1	25.36
通期	15,870	△0.4	440	21.4	415	23.4	420	2.0	34.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	12,051,384株	2024年2月期	12,051,384株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	24,771株	2024年2月期	24,577株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	12,026,708株	2024年2月期1Q	12,027,184株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 55,000.00	円 銭 55,000.00
2025年2月期	-				
2025年2月期(予想)		-	-	55,000.00	55,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかに持ち直すなど、景気は回復基調となりました。その一方で、地政学リスクの長期化や円安進行のほか、消費者物価の伸びに対して実質賃金のマイナスが続くなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、コロナ後の社会情勢の変化や当社が属する専門店業界を取り巻く競争状況の変化も踏まえ、「中期経営計画」(事業再構築計画)の3年目にあたる当連結会計年度より、新たな3カ年の「新中期経営計画」に取り組むことで、安定的な収益の2本柱体制(アパレル、雑貨)を確立させるとともに、成長モデルの再構築に向けた取り組みを推し進めるなど、企業価値の向上を目指しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、平均気温は高めの推移となり、雨の日が多かったことから、客数が伸び悩み苦戦傾向となりました。アパレルでは、春先からブラウスや軽羽織などの春物販売が好調となり、天候の安定したゴールデンウィークには、カットソーやブラウスなどの夏物商品の販売が進み、雑貨では、新生活関連商品、紫外線防止対策や冷感などの機能性商品を中心に販売好調となりました。しかしながら、前年の新型コロナウイルス感染症5類移行後の外出需要拡大の反動もあり、前年には届かない状況となりました。以上のような状況から、全社の既存店売上高前年比は、93.9%となりました。店舗の出退店におきましては、新規に2店舗を出店し、8店舗を退店した結果、当第1四半期末の店舗数は271店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高38億3百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益78百万円(前年同期比58.4%減)、経常利益71百万円(前年同期比60.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は72百万円(前年同期比58.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は81億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億77百万円減少しました。これは主に、季節的要因による預け金1億92百万円、商品2億53百万円が増加したものの、現金及び預金7億23百万円が減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は64億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億35百万円減少しました。これは主に、借入金4億85百万円の返済によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は17億円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金72百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、2024年3月29日公表の数値から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度においては、2022年3月に策定した事業再構築計画に基づき、事業構造改革や経費削減を遂行した結果、営業利益3億62百万円、経常利益3億36百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4億11百万円を計上しておりますが、依然として、流動負債合計が流動資産合計を上回る状況が継続しており、金融機関との支援状況によっては資金繰りに重要な懸念が発生する可能性があることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象及び状況が存在していると認識しております。

この状況を解消すべく、各金融機関とは定期的に業績の進捗状況について詳細の説明、協議の場を設けるなど、理解を得ながら緊密な関係を維持しております。また、2024年5月20日を期限としていた借入金に関しましては、総額4億85百万円の借入金を各金融機関の融資残高に応じて均等に返済し、返済後の融資残高に関しましては、2025年5月20日まで引き続き残高を維持していただく旨、全金融機関から同意を得ており、運転資金及び投資資金を十分に賄える状況と判断しております。

従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,945,061	2,221,416
売掛金	161,647	213,590
預け金	613,940	806,305
商品	1,648,788	1,901,968
貯蔵品	21,812	21,444
1年内回収予定の差入保証金	183,730	146,550
その他	56,865	56,120
流動資産合計	5,631,845	5,367,397
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	684,668	679,759
工具、器具及び備品（純額）	88,414	84,860
有形固定資産合計	773,082	764,620
無形固定資産		
ソフトウェア	33,867	27,143
その他	541	541
無形固定資産合計	34,409	27,684
投資その他の資産		
投資有価証券	4,800	4,800
長期前払費用	19,264	17,939
差入保証金	1,852,109	1,838,871
繰延税金資産	114,696	131,472
その他	116	90
貸倒引当金	△3,855	△3,855
投資その他の資産合計	1,987,131	1,989,319
固定資産合計	2,794,623	2,781,624
資産合計	8,426,469	8,149,021

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	699,047	979,888
電子記録債務	1,779,281	1,621,619
設備関係電子記録債務	4,279	31,285
短期借入金	1,875,991	1,472,622
1年内返済予定の長期借入金	1,041,473	959,757
未払金	136,155	119,579
未払費用	473,415	480,204
未払法人税等	12,855	3,134
未払消費税等	36,287	20,811
預り金	89,506	95,802
賞与引当金	42,800	87,400
資産除去債務	52,101	43,572
その他	3,120	3,764
流動負債合計	6,246,314	5,919,443
固定負債		
資産除去債務	528,968	520,519
長期未払金	8,554	8,554
固定負債合計	537,522	529,073
負債合計	6,783,836	6,448,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,234,642	2,220,067
利益剰余金	△700,098	△627,624
自己株式	△5,077	△5,105
株主資本合計	1,629,466	1,687,338
新株予約権	13,166	13,166
純資産合計	1,642,632	1,700,505
負債純資産合計	8,426,469	8,149,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年5月20日)
売上高	4,050,474	3,803,079
売上原価	1,921,708	1,793,183
売上総利益	2,128,765	2,009,895
販売費及び一般管理費	1,940,190	1,931,512
営業利益	188,575	78,383
営業外収益		
受取利息	4	2
仕入割引	705	742
債務勘定整理益	1,722	2,503
貸倒引当金戻入額	30	-
その他	143	448
営業外収益合計	2,606	3,696
営業外費用		
支払利息	11,098	10,385
支払手数料	30	30
その他	20	61
営業外費用合計	11,148	10,476
経常利益	180,032	71,603
特別損失		
固定資産処分損	1,505	3,831
減損損失	3,884	1,776
賃貸借契約解約損	2,078	7,162
特別損失合計	7,468	12,770
税金等調整前四半期純利益	172,564	58,833
法人税、住民税及び事業税	3,263	3,134
法人税等調整額	△5,556	△16,776
法人税等合計	△2,292	△13,641
四半期純利益	174,856	72,474
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,856	72,474

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年5月20日)
四半期純利益	174,856	72,474
四半期包括利益	174,856	72,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,856	72,474
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2024年2月21日 至 2024年5月20日)

該当事項はありません。

(追加情報)

(財務制限条項)

当第1四半期連結会計期間末の1年内返済予定の長期借入金のうち130,773千円には、以下の財務制限条項が付されております。

- ・2019年2月決算期を初回とする各年度決算期の末日における連結貸借対照表において、純資産の部の合計額を、2018年2月決算期の年度決算期の末日における純資産の部の合計額又は前年度決算期の末日における純資産の部の合計額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。
- ・2019年2月決算期を初回とする各年度決算期の末日における連結損益計算書において、経常損益の金額を0円以上に維持すること。

なお、前連結会計年度末において上記財務制限条項に抵触しておりますが、金融機関から期限の利益の喪失に係る権利の放棄を得ております。